



▼ファームの皆さん。左前後列は昨年就農した田村夫婦



安心な野菜を食卓へ 赤江・オーガニックファーム

同ファームの5人は、市外から安来へ来たU・イーターン者です。平成17年最初に中島で就農し、現在、ファーム代表を務める岸川勉さんは、県指導農業者としても活動。新規就農者の研修の受入から就農支援までを行っています。他のメンバーも岸川さんから

U・イーターン者の就農支援

2%しか流通していない、有機JAS認証を各生産者が取得。農薬や化学肥料などに頼らない有機栽培で安心安全な野菜を生産しています。ファームのメンバーは、元々島根県東部の有機野菜生産者で組織した「島根おやさい本舗」の一員。本舗の出荷先である山陰地区以外への需要に因應するため、平成27年に赤江・オーガニックファームを結成しました。

有機野菜を安定出荷
赤江町中島に広がる水田の一角に約70棟のハウスが軒を連ねています。ここでは5人の生産者がハウスを構え、いずれも小松菜、水菜、ほうれん草など葉物栽培に取り組んでいます。

現在では、大阪、京都、岡山などに共同出荷しています。後、ハウスの増棟や研修生の受け入れ等で規模拡大を計画しています。また、品質の維持向上、メンバー間の親睦を深めるため、定期的にミーティングを行っています。

指導を受け、中島で就農をしました。近くで就農することで、師匠の岸川さんや仲間からノウハウを学べ、早期に安定した経営ができています。

また、地元の支援も後押ししました。中島の広い平らな土地の提供や、U・イーターン者を快く迎え入れる体制は就農者の助けになり、「私たちがこの場所で就農できたのは、地元の皆さんのご理解と協力のおかげです」と岸川さんも強調します。メンバーも積極的に参加し、互いに良い関係を築いています。

今年、新たに2人が研修を予定しています。岸川さんは「仲間を増やし、ここを全国的に有名な有機野菜団地にしていきたい」と意気込みます。



▲岸川勉さんは、有機野菜の産地形成、新規就農者育成が評価され、県から「頑張っているリーダー」を受賞、11月24日に市長へ報告しました。

編集後記

▼1月3日にアルテピアで成人式があり、華やかな衣装に身を包んだ新成人たちが門出を迎えました。今年は369人が新成人に。夢に向かい、市内外で頑張っている新成人たちが、将来も住みたい、帰って来たい、そんな町をつくるのは、今ここに住む私たちにかけついています。(山)

▼年末の歌合戦は歌手のAさんでしたが、元日の新聞は各紙ともA(人工知能)の特集を掲載していました。未来の広報紙の編集はAが担当することになるかもしれません。皆さんの知りたい情報を自動で分析し、読みやすい編集までやってくれる。とは言え、今年も広報マンの編集で「広報やすぎ」をお届けします。(の)

安来市の人口と世帯数 H29.12.31現在

人口合計／ 39,409人
(男:18,889人 女:20,520人)
世帯数／14,245世帯



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。